

# ZENworks 2020

## 概要

2019年10月

## 保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

© Copyright 2008 - 2019 Micro Focus or one of its affiliates.

Micro Focus、関連会社、およびライセンサ (「Micro Focus」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Micro Focus は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

---

# 目次

このガイドについて	5
1 製品	7
2 システムアーキテクチャ	9
3 用語集	13



# このガイドについて

この ZENworks の概要には、ZENworks 製品の紹介、各製品をサポートする共通のシステムアーキテクチャの説明、および ZENworks に共通する用語の一部の定義が記載されています。それらの情報は、次の章で構成されています。

- (7 ページ) **製品** : ZENworks 製品ファミリを構成する製品を紹介します。
- (9 ページ) **システムアーキテクチャ** : ZENworks のすべての製品をサポートする共通のシステムアーキテクチャについて説明します。
- (13 ページ) **用語集** : ZENworks で使用される一般的な用語の一部を定義します。

## 対象読者

このガイドは、ZENworks 製品のインストール、設定、管理に携わるすべてのユーザを対象にしています。

## フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインヘルプの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用してください。

## その他のマニュアル

ZENworks には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks マニュアルの Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zenworks-2020\)](http://www.novell.com/documentation/zenworks-2020) を参照してください。



# 1 製品

ZENworks 製品を使用すると、従業員に対して、作業を行うために必要なものを、その居場所に関係なく簡単に提供できるようになります。各個人への必要な作業環境の提供、環境のセキュリティ保護、および単一の管理コンソールを介したリモートでの環境の更新を行うことができます。最終的には、ユーザおよび関係する IT スタッフは、全従業員のデバイスの適切な装備、セキュリティ保護、パッチ適用、およびコンプライアンス遵守が確実に行われていることを確信できます。



## Asset Management

ソフトウェアインストールおよび使用状況データをトラッキングして、ライセンスコンプライアンスを決定。

詳細については、[ZENworks Asset Management](#) の製品サイトを参照してください。



## Configuration Management

ソフトウェアの配布。ポリシーを介したデスクトップ設定の管理。新規および既存のデバイスのイメージ作成。デバイスをスキャンしてハードウェアとソフトウェアのインベントリを収集。デバイスのリモート管理。あるデバイスから別のデバイスへのユーザアカウント、アプリケーション設定、およびシステム設定の移行。

詳細については、[ZENworks Configuration Management](#) の製品サイトを参照してください。



## Endpoint Security Management

ハッカー、マルウェア、プロトコル攻撃などからデバイスポートを保護。内部ドライブおよびリムーバブルドライブ上のデータの暗号化。アプリケーションに対するアクセス制限、ワイヤレスアクセスポイントに対するアクセス制御。LAN、モデム、ブルートゥース、赤外線、1394 (Firewire)、シリアル / パラレルポートを介した接続制御。

詳細については、[ZENworks Endpoint Security Management](#) の製品サイトを参照してください。



## Full Disk Encryption

オペレーティングシステムを起動する前にディスク全体の暗号化とユーザ認証を実施して、デバイス上のデータを保護。

詳細については、[ZENworks Full Disk Encryption](#) の製品サイトを参照してください。



## Patch Management

コレクション、分析、ソフトウェアパッチのデバイスへの配信を自動化。

詳細については、[ZENworks Patch Management](#) の製品サイトを参照してください。

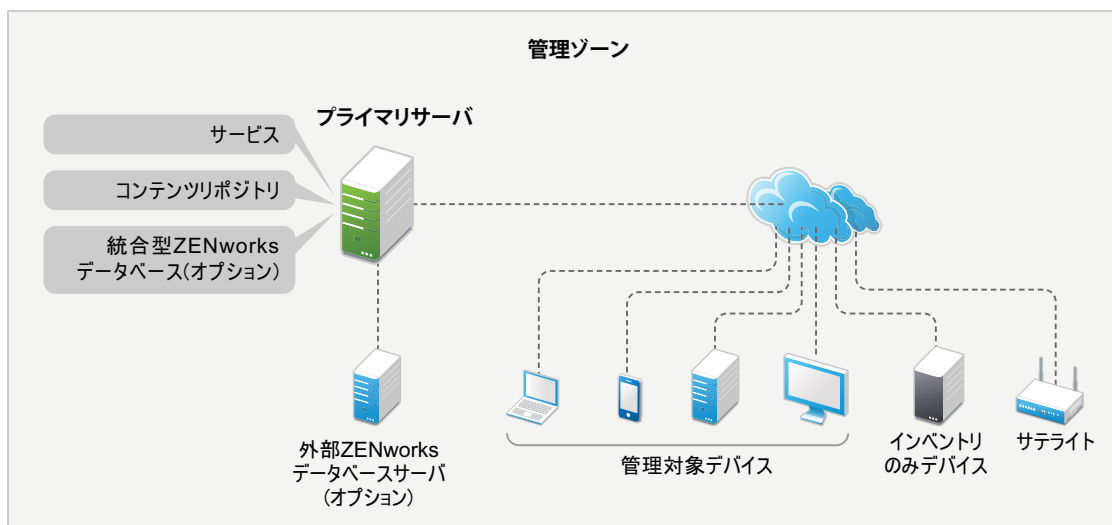
ZENworks 製品は、個別にまたはスイートとして購入することができます。Configuration Management など、個々の ZENworks 製品を購入すると、他の製品もインストールされますが、使用できるのは 60 日の評価期間のみです。その後、ZENworks 管理コンソール経由で有効な製品ライセンスを指定すると、製品を有効にできます。

ZENworks 製品の詳細については、ZENworks Endpoint Management サイト (<http://www.novell.com/solutions/endpoint-management/products/>) を参照してください。



## 2 システムアーキテクチャ

すべての ZENworks 製品は、同じシステムアーキテクチャを使用しています。このアーキテクチャは、プライマリサーバ、サテライトサーバ、管理対象デバイスなどのコンポーネントで構成されています。これらのコンポーネントは、「管理ゾーン」と呼ばれる管理ドメインに配置されています。



### プライマリサーバ

プライマリサーバは、管理ゾーンの中心となる部分です。ZENworks を使用して管理するデバイスの数と場所によっては、1つのプライマリサーバまたは複数のプライマリサーバが必要となる場合があります。

ゾーン内のプライマリサーバは共に動作して、デバイスを管理します。たとえば、プライマリサーバは管理対象デバイスにコンテンツを配布したり、管理対象デバイスからインベントリ情報を収集したりします。

各プライマリサーバには、次の ZENworks コンポーネントがあります。

- ◆ **ZENworks サービス** : ソフトウェア管理、ポリシー施行、イメージング、インベントリコレクション、アセットトラッキングなどを提供する ZENworks ソフトウェアです。
- ◆ **管理ツール** : ゾーンを管理できるようにする ZENworks ソフトウェアです。これには、管理対象デバイスに配布するためのソフトウェアバンドルとポリシーの作成と割り当て、ソフトウェアパッチの管理、イメージング操作のセットアップ、デバイスからのハードウェアおよびソフトウェアインベントリの収集などのタスクの実行が含まれます。

管理ツールとして、ZENworks コントロールセンターと ZENworks コマンドライン管理ユーティリティ (zman) の 2 つがあります。ZENworks コントロールセンターは、ブラウザベースの管理コンソールです。zman ユティリティは、タスクの自動化 (スクリプトを使用)、および ZENworks コントロールセンターで実行するには手間のかかる大量の管理タスクの実行に役立つ、コマンドライン管理ユーティリティです。

- ◆ **コンテンツリポジトリ** : ゾーン内の管理対象デバイスに配信可能なソフトウェアバンドル、ポリシー、パッチ、およびシステム更新を保存するディレクトリ構造です。このコンテンツは、圧縮および暗号化され、管理ゾーン内のすべてのプライマリサーバ間に自動的に複製されます。必要に応じて、特定のコンテンツをレプリケーションから除外して、すべてのサーバに伝播させることができます。
- ◆ **ZENworks データベース** : 管理ゾーンには、2 つのデータベース (ZENworks データベースと ZENworks Audit データベース) があります。

ZENworks データベースには、デバイス、ユーザ、ソフトウェアバンドル、ポリシー、ハードウェアとソフトウェアのインベントリ、集中型システムメッセージ、ライセンストラッキングと使用状況データ、およびその他のトランザクションデータに関する情報が保存されます。また、ゾーン内で実行するようにスケジュールされているアクションに関する情報も保存されます。

ZENworks Audit データベースには、監査されたイベントに関する情報が保存されます。これには、ゾーン設定に加えられた変更や、管理対象デバイス上で行われたアクションが含まれます。

これらのデータベースは両方とも同じサーバ上に存在し、このサーバはプライマリサーバにすることも、プライマリサーバ以外のサーバにすることもできます。データベースには、ZENworks に付属の組み込み Sybase SQL Anywhere データベースソフトウェアを使用したり、外部の Sybase SQL、Oracle、または Microsoft SQL データベースソフトウェアを使用することができます。サポートされているデータベースバージョンの詳細については、『ZENworks サーバインストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。

プライマリサーバは、Windows サーバおよび Linux サーバ (物理と仮想の両方) にインストールすることができます。プライマリサーバは、サポートされている仮想インフラストラクチャに ZENworks Appliance を展開することによってもセットアップできます。

ZENworks Appliance は、カスタマイズされた SUSE Linux Enterprise Server 11 Just Enough Operating System (SLES 11 JeOS) 上で構築されます。サポートされているオペレーティングシステムの詳細については、『ZENworks サーバインストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。

## サテライトサーバ

サテライトサーバは、プライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行することのできるデバイスです。サテライトサーバには、Windows、Linux、または Macintosh の管理対象デバイスを使用することができます。管理対象デバイスをサテライトサーバとして設定する際、実行する役割を指定します。

- ◆ **認証** : ZENworks ユーザの認証を行います。
- ◆ **コレクション** : 管理対象デバイスからインベントリ情報、システムメッセージ、ポリシーステータス、およびソフトウェアバンドルステータスを収集し、その親プライマリサーバに情報を送信します。

- **コンテンツ**: ソフトウェアバンドル、ポリシー、システム更新、およびパッチを管理対象デバイスに配布します。
- **イメージング**: デバイスのイメージの取得やイメージの適用など、すべてのイメージング操作を実行します。
- **結合プロキシ**: リモート管理ビューアを管理対象デバイスに接続するためのプロキシとして動作します。これにより、管理者がデバイスに対してリモート操作を実行できます。

サテライトサーバを使用すると、管理対象デバイスと同じネットワークセグメント内に ZENworks サービスを配置したり、より多くのデバイス間でワークロードを分散させることによって、管理ゾーン内のパフォーマンスを向上させることができます。たとえば、プライマリサーバへの低速 WAN リンクを備えた場所に複数の管理対象デバイスが設置されているとします。それらの管理対象デバイスの認証およびコンテンツ配布のパフォーマンスを向上させたいと考えていますが、その場所に別のプライマリサーバを設置したくはありません。そこでその代わりに、管理対象デバイスの 1 つをサテライトとして指定し、そのサテライトサーバに、その場所にある管理対象デバイスに対する認証の役割とコンテンツの役割を実行させます。管理対象デバイスは、プライマリサーバの代わりにローカルのサテライトサーバと通信するので、認証およびコンテンツ配布の速度が向上します。

サテライトサーバの詳細については、『[ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス](#)』の「サテライト」を参照してください。

## 管理対象デバイス

管理対象デバイスとは、ZENworks Agent がインストールされていて、管理ゾーンに登録されている Windows デバイス、Linux デバイス、または Macintosh デバイスです。ZENworks Agent は、プライマリサーバまたはサテライトサーバと通信して、コンテンツや情報を交換します。また、ソフトウェアのインストールや、設定ポリシーおよびセキュリティポリシーの適用など、デバイスに対する必要な管理タスクも実行します。

管理対象デバイスは、1 つの管理ゾーンにのみ登録でき、そのゾーン内でのみ管理されます。

## インベントリのみデバイス

ZENworks Agent をインストールできないデバイスや ZENworks Agent をインストールしないデバイスがある場合があります。これらのデバイスのインベントリを作成するには、インベントリのみエージェントをインストールするか、ポータブルコレクタを実行できます。

詳細については、『[ZENworks 検出、展開、およびリタイアリファレンス](#)』を参照してください。



# 3 用語集

次の表には、この概要で使用されている ZENworks に関する用語の説明が記載されています。

用語	説明
バンドル	デバイスに適用されるソフトウェアのファイルと手順のコレクションです。ZENworks はバンドルを Windows、Macintosh、および Linux の管理対象デバイスに配布できます。  詳細については、『ZENworks ソフトウェア配布リファレンス』を参照してください。
コンテンツ	ゾーン内の管理対象デバイスに配布可能なバンドル、ポリシー、システム更新、およびパッチです。
コンテンツリポジトリ	管理対象デバイスに配布可能なコンテンツを含む、プライマリサーバまたはサテライトサーバ上のディレクトリ構造です。コンテンツは圧縮され、暗号化されます。詳細については、『ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「コンテンツ」を参照してください。
インベントリのみデバイス	インベントリのみモジュールやポータブルコレクタによってインベントリされた管理対象外デバイス (ZENworks Agent なし) です。詳細については、『ZENworks 検出、展開、およびリタイアリファレンス』の「ZENworks Agent とインベントリのみモジュール」および「インベントリのみモジュールの展開」を参照してください。
インベントリのみモジュール	インベントリを可能にするためデバイスにインストールされるソフトウェアです。このモジュールは通常、ZENworks Agent によってサポートされていないオペレーティングシステムを実行しているデバイス上にインストールされます。
管理対象デバイス	ZENworks Agent がインストールされていて、管理ゾーンに登録されている Windows デバイス、Macintosh デバイス、または Linux デバイスです。
管理ゾーン	1 つの ZENworks データベースと 1 つの ZENworks Audit データベースによってサポートされているプライマリサーバ、サテライトサーバ、および管理対象デバイスのグループです。ゾーンは、ZENworks コントロールセンターを介して管理されます。
ポリシー	管理対象デバイスの環境設定またはセキュリティ設定を定義できる、一連のルールおよび情報です。ポリシーの詳細については、『ZENworks Configuration Policies リファレンス』、『ZENworks Endpoint Security Policies リファレンス』、および『ZENworks Full Disk Encryption Policy リファレンス』を参照してください。

用語	説明
プライマリサーバ	ZENworks のサービスやコンテンツリポジトリ含む、Windows または Linux サーバです。オプションで、ZENworks データベースを含めることもできますが、ゾーンごとに1つのプライマリサーバのみです。1つの管理ゾーンは、複数のプライマリサーバで構成できます。
ポータブルコレクタ	任意のデバイスをインベントリでき、デバイスと同様に ZENworks コントロールセンターでアクセス可能なファイルを作成できるソフトウェアユーティリティです。このファイルはデバイスに関するインベントリデータを取得するために使用されます。詳細については、『ZENworks Asset Inventory リファレンス』の「ポータブルコレクタの使用」を参照してください。
サテライトサーバ	サテライトサーバはプライマリサーバが通常実行する特定の役割を実行することのできる管理対象デバイスです。サテライトサーバとして、任意の Windows、Linux、または Macintosh 管理対象デバイスを設定できます。サテライトサーバを設定する際には、サテライトが実行する役割を指定します ( 認証、コレクション、コンテンツ、イメージング、および結合プロキシ )。  詳細については、『ZENworks プライマリサーバおよびサテライトリファレンス』の「サテライト」を参照してください。
ZENworks エージェント	プライマリサーバで管理できるようにするために Windows デバイス、Macintosh デバイス、または Linux デバイスにインストールされるソフトウェア。ZENworks Agent は、ソフトウェア配信、ポリシー適用、イメージング、リモート管理、インベントリなどをサポートするモジュールから構成されます。詳細については、『ZENworks 検出、展開、およびリタイアリファレンス』を参照してください。
ZENworks コントロールセンター	管理ゾーンを管理するために使用される Web ベースのコンソールです。詳細については、『ZENworks コントロールセンターリファレンス』を参照してください。

用語	説明
ZENworks データベース	<p>管理ゾーンには、2つのデータベース (ZENworks データベースと ZENworks Audit データベース) があります。</p> <p>ZENworks データベースには、デバイス、ユーザ、ソフトウェアバンドル、ポリシー、ハードウェアとソフトウェアのインベントリ、集中型システムメッセージ、ライセンストラッキングと使用状況データ、およびその他のトランザクションデータに関する情報が保存されます。また、ゾーン内で実行するようにスケジュールされているアクションに関する情報も保存されます。</p> <p>ZENworks Audit データベースには、監査されたイベントに関する情報が保存されます。これには、ゾーン設定に加えられた変更や、管理対象デバイス上で行われたアクションが含まれます。</p> <p>これらのデータベースは両方とも同じサーバ上に存在し、このサーバはプライマリサーバにすることも、プライマリサーバ以外のサーバにすることもできます。データベースには、ZENworks に付属の組み込み Sybase SQL Anywhere データベースソフトウェアを使用したり、外部の Sybase SQL、Oracle、または Microsoft SQL データベースソフトウェアを使用することができます。サポートされているデータベースバージョンの詳細については、『ZENworks サーバインストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。</p> <p>サポートされているデータベースの詳細については、『ZENworks サーバインストールガイド』の「データベースの要件」を参照してください。</p> <p>ZENworks データベースの詳細については、『ZENworks Database Management Reference』を参照してください。</p>
zman	<p>ZENworks システムを管理するためのコマンドラインインタフェース。zman ユーティリティは、タスクの自動化 (スクリプトを使用)、および ZENworks コントロールセンターで実行するには手間のかかる大量の管理タスクの実行に役立ちます。たとえば、多数のデバイスを設定している場合や、多数のバンドルにアクションを追加する場合などがあります。</p> <p>zman ユーティリティは、すべてのプライマリサーバで使用できます。</p> <p>詳細については、『ZENworks コマンドラインユーティリティリファレンス』の「ZENworks コマンドラインユーティリティ」を参照してください。</p>
zac	<p>ZENworks Agent を管理するためのコマンドラインインタフェースです。zac ユーティリティを使用すると、ソフトウェアバンドルのインストールおよび削除、ポリシーの適用、およびデバイスの登録および登録解除など、ZENworks 管理対象デバイス上で管理タスクを実行できます。</p> <p>詳細については、『ZENworks コマンドラインユーティリティリファレンス』の「ZENworks コマンドラインユーティリティ」を参照してください。</p>

